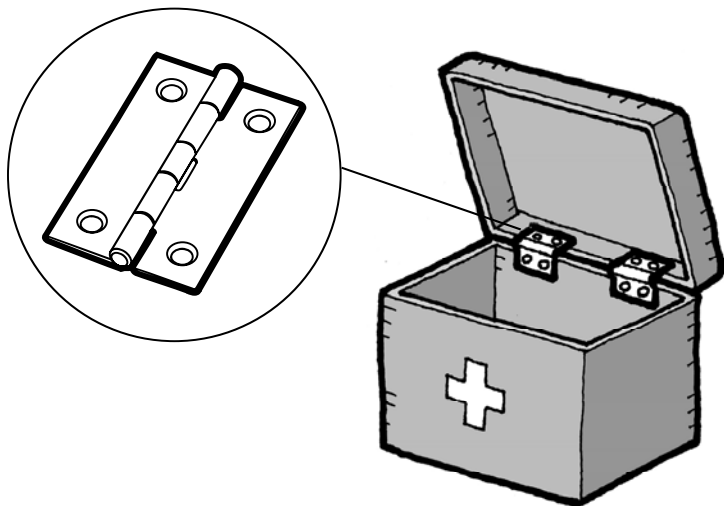


扉と側とを接合する為の部品です。

蝶番 [ちょうばん]

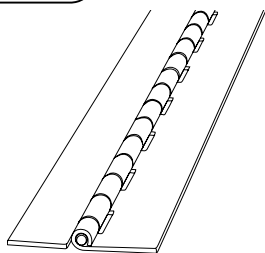


ココミテ
COCO MITE

- 扉の材質に合わせて、蝶番の材質を選んでください。
例) 鉄・ステンレス・黄銅等
- 蝶番の表面仕上げを確認してください。
例) メッキ・ヘアライン・塗装等
- サイズ(mm)・耐荷重(kg)を確認してください。

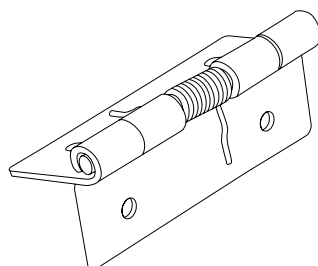
蝶番の種類

長蝶番

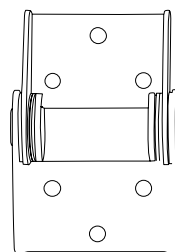


必要な長さで切断できます。

スプリング蝶番

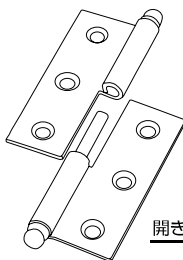


トルクヒンジ



任意の角度に保持できます。フリーストップ仕様です。監視カメラなどの取り付けに。

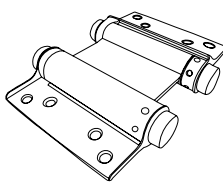
抜き差し蝶番



現地での組み立てが簡単なタイプです。右用・左用があります。

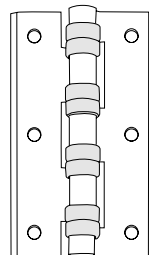
開きは180°

自由蝶番(両開)



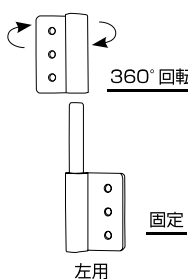
扉を内・外どちらにも開けるタイプがあります。常に扉が閉じた状態を保つようにバネが内蔵されています。

クリーンヒンジ



摺動部に樹脂キャップを装着しており、金属同士の摩擦がないため、金属粉が飛散しません。

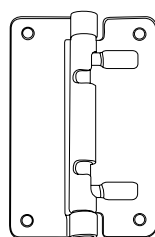
旗蝶番



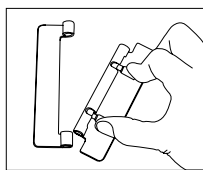
360°回転するので門扉などに使います。向かって右用・向かって左用があります。

左用

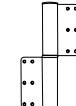
リリースヒンジ



片手で袖を引っ込めることができるので、扉の着脱が簡単です。

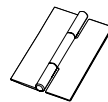


オートヒンジ丁番



強弱 2つのスプリングでドアの開閉がスムーズにできます。

溶接蝶番

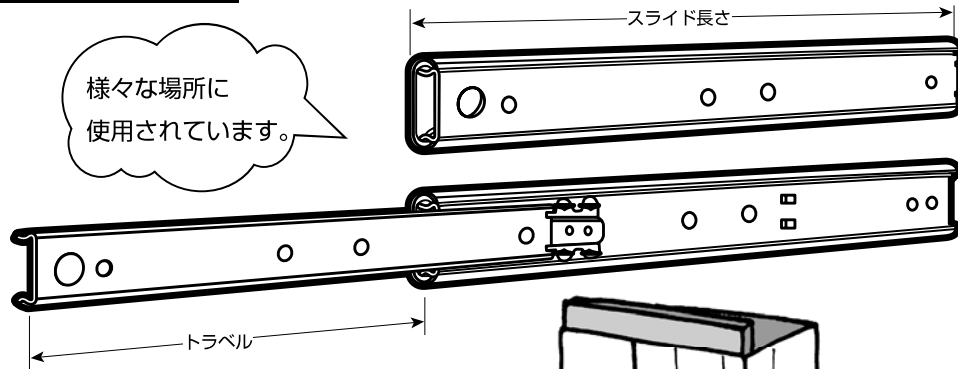


ねじではなく、溶接で鉄扉などに取り付けるタイプです。

軽いものから重いものまで非常に軽く、滑らかに移動させることができるレールです。

スライドレール

様々な場所に
使用されています。



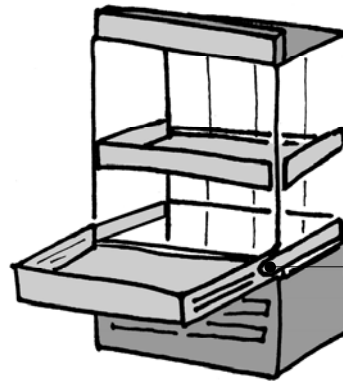
オフィスにて

机の引出し部分や収納用品棚の扉のスライド部分などに使われています。



コンビニでも

商品を並べる保冷棚などに。



環境対応について

六価クロムフリーのスライドレールを採用し、RoHS への対応と、グリーン調達基準にも十分な対応をしています。

スライドレールの基本機能

●ストップタイプ

スライドレールを全開した時に、引き抜くことのできないタイプです。全開状態では固定(ロック)されません。

●フロントディスコネクトタイプ

引出し側(ドロワーメンバー・インナーメンバー)をフロント側に引き抜きできるタイプです。

●消音ストップタイプ

全開時および全閉時の金属音を軽減します。消音パーツとしてはフェルト・バンパー・ゴムクッション等があります。

定格荷重の目安

軽荷重用	18kg/ ペア～ 29kg/ ペア
中荷重用	41kg/ ペア～ 87kg/ ペア
重荷重用	77kg/ ペア～ 116kg/ ペア

スライドレールの持つ性能は使用状態により変化します。上記の定格荷重は参考としてお考えください。

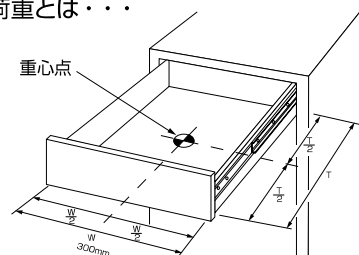
COCO MITE

●定格荷重(kg)を確認してください。

・定格荷重とは、スライドトラベル(移動量)および取付幅(300mm)の中央における静荷重値です。(引出しにかかる重さ)

●サイズ(mm)(スライドトラベル)を確認してください。

荷重とは・・・



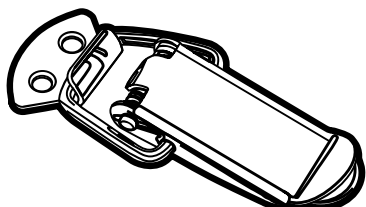
T= スライドトラベル
W= 取付幅

引出し自体にどれだけの重さがかかるのかを指します。

パッチン錠・ステー

道具箱やアタッシュケースの蓋などに使用される蝶番と閉めるときの金具です。

パッチン錠 [ぱっちんじょう]



特長

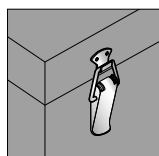
扉や蓋を閉めるときに固定する金具です。
工具箱やアタッシュケースなど、その他多くの収納に使用されています。



ココミテ
COCO MITE

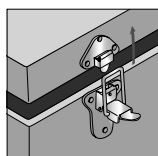
用途別による種類

<標準タイプ>



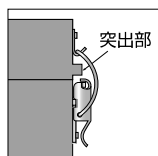
様々な大きさがあります。

<受金具差込タイプ>



本体に受金具が入り込みます。

<突出物対応タイプ>



箱の突出部などを避けて金具止めが可能です。

<バネ式タイプ>



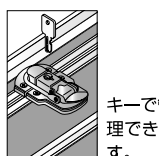
ばね作用により振動を吸収します。

<シリンダー錠対応タイプ>



南京錠がかけられます。

<錠付きタイプ>



キーで管理できます。

<ラッチタイプ>



振動でラッチが外れません。

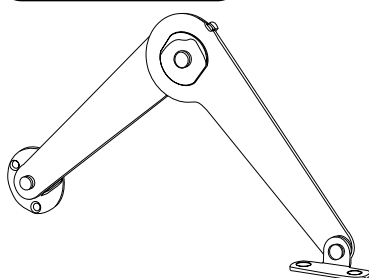
●タイプを確認してください。

- ・標準タイプ
- ・受金具差込タイプ
- ・突出物対応タイプ
- ・バネ式タイプ
- ・シリンダー錠対応タイプ
- ・錠付きタイプ
- ・ラッチタイプ

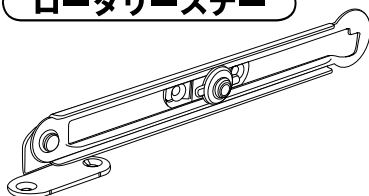
●引張荷重(kgf)を確認してください。

ステー

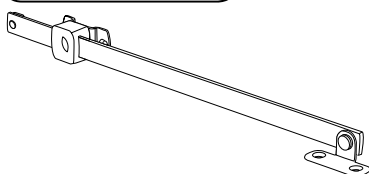
タスキステー



ロータリーステー



平角棒ステー

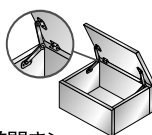


特長

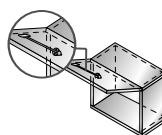
扉や蓋を一定の角度で保持するための金具です。
上蓋を開く「天開き」、正面の扉を上を開く「上開き」、正面の扉を下に開く「前開き」の3種類があります。

使用状況の種類

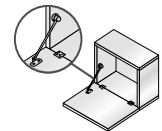
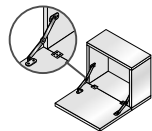
<天開き>



<上開き>



<前開き>



ステーの種類

- ・ロックタイプ…ロック状態から解除するのに一動作が必要です。
- ・ワンタッチタイプ…ロック状態から解除操作が不要です。
- ・ブレーキタイプ…扉を開ける時、ブレーキがかかります。

ココミテ
COCO MITE

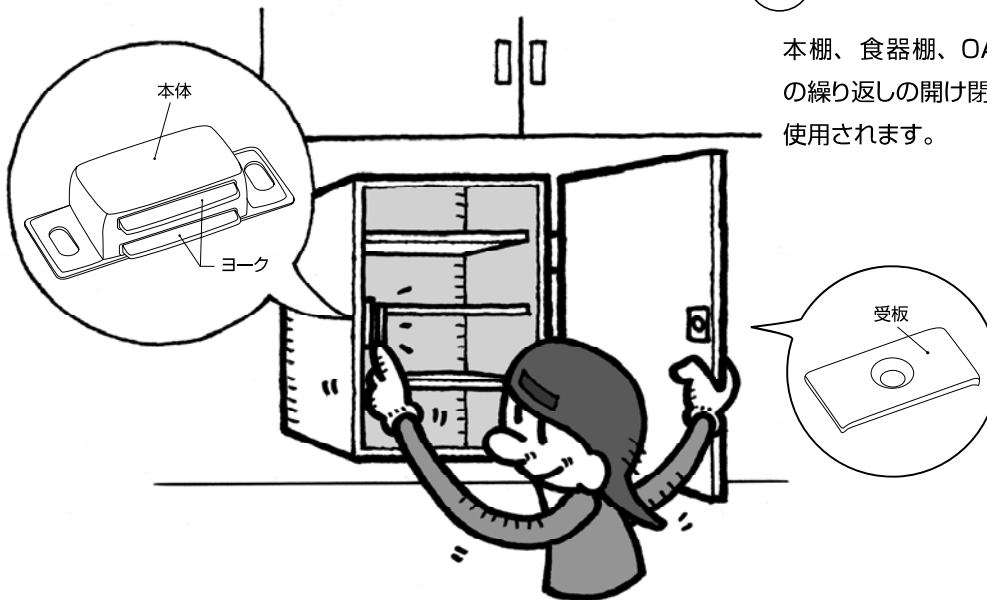
- 開き方により、左右どちらにつけるかを確認してください。
- 取り付け位置(フタの仕様・開閉角度)を確認してください。

マグネットの吸着力で閉めた扉を固定します。

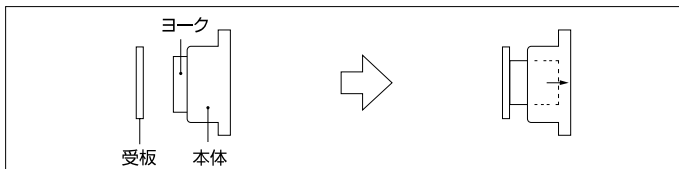
マグネットキャッチ

特長

本棚、食器棚、OA 機器などの扉の繰り返しの開け閉め(吸着離脱)に使用されます。

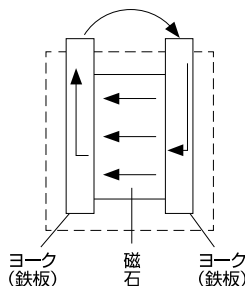


マグネットキャッチの種類



- ヨークには固定型や上記のようなクッション有りタイプがあります。クッション有りタイプはヨークにクッション性があり、力が加わると本体側にヨークが沈み吸着時のショックを緩和させます。
- 横型・縦型・埋め込み型など取り付け環境で種類が分かれます。それぞれに適した型につくられています。
- クリーンルームなどで使用される磁石密閉型もあります。

磁力の流れ



磁石とヨーク(鉄板)の組み合わせで強力な吸着力を生み出します。磁力はヨーク(鉄板)を通して外部に発生させますので、磁石自体は相手側には接触しません。

ココミテ
COCO MITE

- 必要な吸着力(N)を確認してください。
- 取り付ける位置とサイズ(全長)(mm)を確認してください。
- 様々な色や材質がありますので使用環境に合ったものを選んでください。

ドアハンガー

ドアや治工具・半製品等を吊るすためのレールです。

ハンガーレール

●パーツの組み合わせにより、天井付けや壁付けができ、吊り車の種類も多く、特にスチール製は荷重範囲が広いいため使う目的に合わせた選択ができます。

●マテハン部品の車は、特にものを吊すことを目的に設計されており、車どうしがぶつかって傷つけあったり、割れたりしないようになっています。

ココミテ
COCO MITE

●吊るすものの重さ(kg)を確認してレールを選んでください。
●材質・サイズ・長さ(mm)を確認してください。

寸法図

●用途や使い方によって、ハンガー車や部品を選んでください。

マテハンとは
マテリアルハンドリングの略で、物を運ぶ、動かすという意味です。

ドアハンガーの各部品名称

■継受
ハンガーレールのジョイントに使用し、天井継受と横継受の2種があります。

■戸当り(旧名：中央戸当り)
ハンガーレールの内溝にネジで止め、扉の位置決めに使います。

■ハンガー車
複車と単車の2種があり、吊り下げ荷重や使用用途に応じて使い分けます。扉の直線移動用としては複車をお使いください。

■ハンガーレール
内側を吊り車が走行するための軌道で、スチール、ステンレスの標準品があります。

■受金具(ブラケット)
ハンガーレールを構築物に取り付ける受金具で壁面取り付け用の横受と天井面取り付け用の天井受の2種があります。

■サイドカバー(旧名：ストッパー)
ハンガーレール端部のブラケットにはめ込んで使用し、端部の目隠しにします。

■エプロン
吊り車と扉体とをつなぐ金具で、エプロンは主に木製の扉に用います。

■ボトムストッパー(旧名：閉止め)
ガイドレールの溝内にビス止めし、ガイドローラの当りとし、扉の位置決めに使います。

■ガイドローラ
吊り扉の下部に用い扉の揺れ止め、風によるあおり止めに使用し、鉄製扉用のガイドローラ、ボルトタイプガイドローラ、木製扉用の枠付ガイドローラの3種があります。

■ガイドレール
ガイドローラ用の軌道で、スチール、ステンレスがあります。

注意事項

- ・ハンガーレールは、必ずブラケット(受金具)を使い、450 mm～500 mmピッチで取り付け、1つのブラケット間に2個以上の吊り車が入らないようにしてください。
- ・また、耐荷重いっぱいでは使うより、余裕のあるレールを使用する方が車の寿命が長くなります。